武蔵国分寺跡資料館
令和８年度　秋季企画展









大昔のこくぶんじ

―旧石器時代・縄文時代―



大昔、この地域にいた先人たちが
残したモノから分かること…

令和８年 **10月10日（土）～12月6日（日）**

会場 武蔵国分寺跡資料館 講座室　時間 午前９時～午後５時
（入園は午後4時45分まで）

武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

［住所］ 〒185-0023　東京都国分寺市西元町1-13-10
［電話］ 042-323-4103　［FAX］ 042-300-0091
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

国分寺崖線上の台地には、旧石器時代・縄文時代の遺跡が数多く見つかっています。本展では、市内最古の多摩蘭坂遺跡から見つかった３万５千年前の石器をはじめ、旧石器時代・縄文時代の出土資料を展示し、大昔にこの地域にいた先人たちの暮らしについて紹介します。

旧石器時代

人類が日本列島へ渡ってきた約４万年前～１万6,000年前



接合資料
（恋ヶ窪東遺跡）

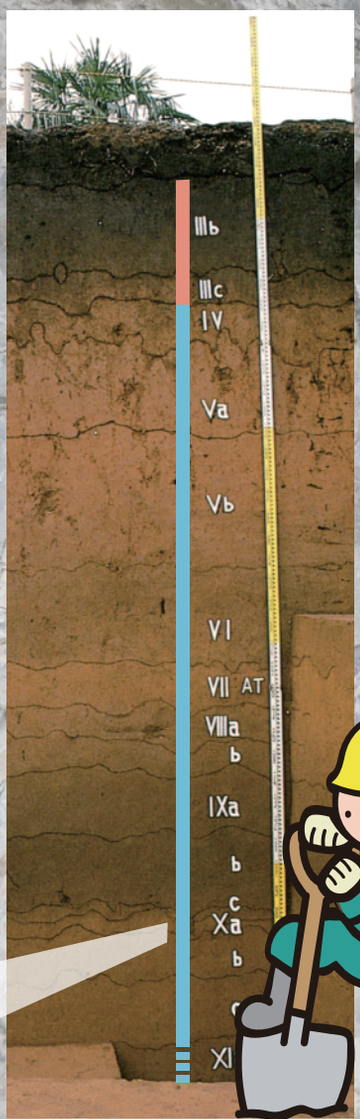
寒冷な環境下で人々が生きるために使用した石器や調理場の跡が地中から見つかっています。市内遺跡の代表的な石器の他、石器製作の手がかりとなる接合資料なども展示。

市内最古

多摩蘭坂遺跡（内藤１丁目）



市重要文化財の大型石斧と同じ立川ローム第Ⅹ層から出土したナイフ形石器を展示。



市内の遺跡で標準的にみられる地層の堆積状況（多摩蘭坂遺跡）

縄文時代

日本列島で土器の使用がはじまる
約１万6,000年前～2,400年前



早期の土器
（武蔵国分寺跡南方地区）

前期の土器
（武蔵国分寺跡）

後期の土器
（恋ヶ窪東遺跡）

１万年以上続く縄文時代に使用された土器は、地域や時期によってさまざまな特徴があります。本展では、武蔵国分寺跡資料館で常設で公開されていない時期の土器や、土偶、耳せんなどを展示。

奈良時代のお寺の遺跡で有名な「国分寺市」ですが、実は旧石器時代・縄文時代の遺跡もすごいんです！

紹介する主な遺跡

【旧石器時代】
多摩蘭坂遺跡／花沢東遺跡／恋ヶ窪遺跡／恋ヶ窪東遺跡／日影山遺跡 など

【縄文時代】
恋ヶ窪遺跡／多喜窪遺跡 など

■開館時間
午前９時～午後５時（入園は午後４時45分まで）

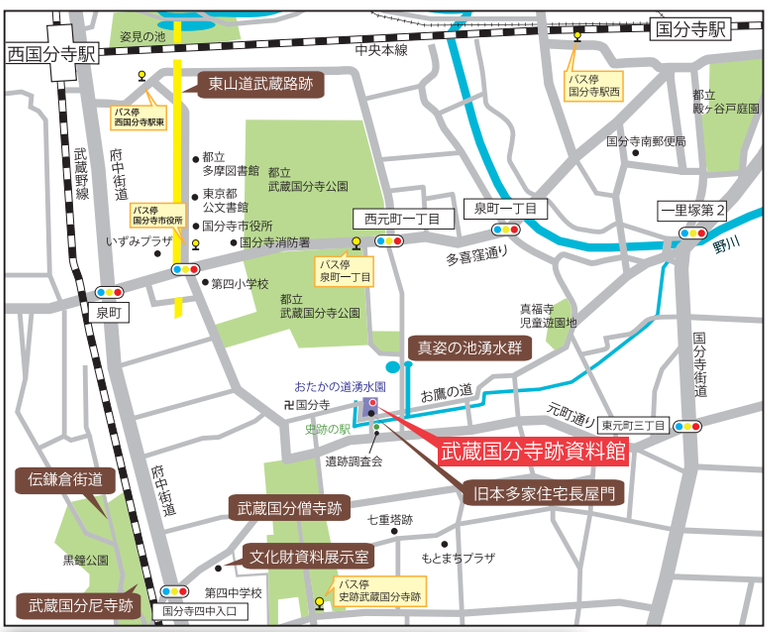
■休館日
毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

■入園料
資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
一般……100円（年間パスポート1,000円）
中学生以下……無料

〔以下の場合は入園料の減免ができます〕
（1）学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（５日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
（2）身体障害者及びその介護者が入園するとき
〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
（3）その他教育長が特別の理由があると認めるとき
〔事前（５日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

■交通のご案内
［電車］◎JR・西武「国分寺駅」下車／徒歩約20分 ◎JR「西国分寺駅」下車／徒歩約15分
［バス］◎国分寺市地域バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約８分
◎国分寺駅南口『京王バス』系統番号〈寺83〉・〈寺87〉・〈寺88〉乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約８分

企画展の会期や時間等については、今後の諸事情により変更する場合があります。お手数ですが、ご来園の際は市HP等で最新情報をお確かめください。



武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

［住所］ 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
［電話］ 042-323-4103 ［FAX］ 042-300-0091
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

ホームページはこちらから